

平成25年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市藤棚地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ・ 藤棚商店街の周辺に古くからの住宅地が密集しており、急傾斜の坂道と狭小な道路が多くあります。地域によっては緊急車両の通行が困難な地域も混在しています。高齢化率は25.3%と西区では高い方です。自治会によっては28%を超えている町内会もあります。また、6歳未満の子供の数は少なくなっており、町内によっては子供会がない地域もあります。
- ・ 地域の課題としては自治会の役員の高齢化が顕著で、後継者探しに苦労されている自治会もあります。
- ・ エリアには9つの福祉施設があり、連携をしながら業務を進めていきました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 建物・空調設備、消防設備等の保守点検を定期的に行い、また日常清掃や消耗品の補充等における日常の管理を通して、ご利用者が安心して、また安全にご利用いただけるよう努めました。
- ・ 地域ケアプラザの施設は様々な方が利用されるので、感染症予防のために、毎日トイレ・手摺・ドアノブ等の殺菌消毒を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ 地域ケアプラザの労務、経理などの事務処理に関して、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務の効率化に努めました。また送迎車輛リース等の委託業務の選定にあたっては電子入札を実施し経費削減を図りました。
- ・ 不要な電気をこまめに消したり、空調を適正温度に設定するなど無駄を省くように努めました。また、徐々にLED電球の導入をしました。
- ・ 建物管理や保守に関しては、藤棚地区センターとの複合施設のため共同委託することで、効率よく施設管理を行いました。

ウ 苦情受付体制について

- ・法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。
- ・法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取組を行いました。
- ・ケアプラザでは「なんでもご意見箱」と法人のお客様相談室宛の専用ハガキ「お聞かせください」を設置し気軽にご意見がいただけるよう工夫しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・緊急時に落ち着いた行動がとれるよう年に2回デイサービスのお客様や貸室ご利用者を含めた避難、消火訓練を行いました。その内1回は藤棚地区センター・藤棚ハイイツと合同防災訓練を行いました。
- ・地域ケアプラザは区役所と特別避難場所の協定を結んでいますので、災害時は要援護者の避難場所に指定されます。

オ 事故防止への取組について

- ・介護サービスの提供中にヒヤリとしたり、ハッとしたことなどを朝夕のミーティングの場において報告し、職場内で注意を喚起しながら事故の防止に努めました。また所内での会議などにおいても他の事業所での事故の事例や事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・法人では個人情報保護規程を定め、それぞれのケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティー研修を職員に受講させ、所内でも個人情報保護研修を行い啓発に努めました。
- ・実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類などは施錠できるロッカーなどで保管することとし、携帯がどうしても必要な場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを携帯するようにしました。
- ・書類の封入時のダブルチェックやファックスで送る場合のマスキング、短縮ダイヤルの設定、ダブルチェックなどを徹底するよう職員に周知徹底を図っています。
- ・デイサービスのご利用者の記録書等の取扱いについては、誤返却防止のために、看護職員、生活相談員、介護スタッフで3段階チェックを行いました。

キ 情報公開への取組について

- ・地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程にのっとり、積極的に情報を公開する体制を整えました。
- ・ホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ・省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用を励行しました。横浜市「ごみゼロルート回収」に従い、資源ゴミの分別収集を行いました。
- ・電力消費がピークとなる夏季には「適正冷房・軽装勤務」の実行、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、地球温暖化防止にも心がけました。
- ・2ヶ月に1回、空気環境測定を行い、室内環境の適正な維持に努めました。外構の環境整備については、地域作業所の活動の場として清掃作業を委託しました。また、低木の剪定についてはボランティアに依頼して行いました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 地域包括支援センター（看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー） 3名
- ・ プランナー 1名（非常勤）

《目標》

介護予防支援計画の作成にあたっては、お客様の意思及び人格を尊重し、自立に向けて設定された目標を達成するために、お客様及びそのご家族の主体的な参加とともに、適切な保険・医療・福祉サービス及びボランティア団体等との連携を図り総合的なサービス提供の調整に努めます。可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう努めました。

事業の運営に当たっては公正中立な立場で、多様な総合的なサービス調整に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- お客様の負担金はありません。
- 訪問時の交通費を徴収した事例はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ ご本人の心身能力、生活能力、意欲などを総合的にアセスメントし、意欲を引き出せるよう努めました。その際、人から必要とされ、生きがいの持てる生活が送れることを目的としてお客様と一緒にケアプランを作成しました。
- ・ 居宅介護支援事業所に委託する場合も自立支援につながるようケアマネジャーの支援に努めました。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
116	112	112	107	106	104
10月	11月	12月	1月	2月	3月
103	103	105	104	108	105

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務） 管理者は業務の管理を一元的に行います。
 ケアマネジャー 2名（常勤専従）
 1名（常勤兼務）
 1名（非常勤兼務）

《目標》

- 適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等の連絡調整を行いました。
- 事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- 居宅サービス計画の作成にあたっては、お客様の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができることを目標としました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- お客様から頂く負担金は、償還払いの場合を除き無料です。
- 通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問、出張する必要がある場合には、以下の実費をいただきます。
 - ① 公共交通機関を利用の場合、公共交通機関の運賃分
 - ② 自動車を利用した場合、プラザより片道6.5km未満は無料とし、6.5km以上は10kmごとに160円
- 介護保険料を一定期間滞納した場合は、一旦サービス利用料金の全額をお支払いいただかなければならなくなりますのでご注意ください。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザは福祉・保健の活動拠点として、町内会・自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体など、地域の様々な団体に日頃から地域ケアプラザを利用してもらえるように努めました。また、地域の身近な相談窓口として、誰もが気軽に立ち寄れて、相談できるケアプラザであるようこれからも務めていきます。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
89	89	84	81	80	86
10月	11月	12月	1月	2月	3月
91	95	90	100	98	102

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- お客様が自立した日常生活を営むこと、及び家族の負担軽減を目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、身体の状態に応じて、入浴・排泄・食事等の介護と口腔機能向上・運動器機能向上訓練を行いました。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

● 1割負担分（1回あたりの金額） 基本額（大規模型通所介護（Ⅰ））

（要介護1）	715	円
（要介護2）	840	円
（要介護3）	971	円
（要介護4）	1,102	円
（要介護5）	1,231	円
● 食費負担	650	円
● 個別機能訓練	54	円
● サービス体制強化加算（Ⅱ）	7	円
● 入浴介助	53	円
● 口腔機能向上加算	159	円
● キャンセル料	450	円

（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費450円を頂きました。）

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 8:45 ~ 17:00 の内7時間

《職員体制》

管理者	・・・	常勤兼務	1名
生活相談員	・・・	常勤兼務	4名
看護職員	・・・	非常勤兼務	6名
介護職員	・・・	常勤兼務	4名
		非常勤専任	24名
機能訓練指導員	・・・	非常勤兼務	6名
調理員		非常勤専任	6名
運転手		非常勤専任	7名
事務員		常勤兼務	1名
		非常勤専従	1名

《目標》

- ・ お客様が自立した日常生活を営むことを目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて通所介護サービスを提供しました。
- ・ 通所介護計画書の作成にあたっては、個別ニーズを把握しご利用者の意思を尊重し、心身状況、環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営む事ができることを目標としました。
- ・ 職員の資質向上を図るための研修を定期的に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ご本人やご家族が見学を希望される場合には随時対応しました。実際に見ていただいて不安を解消した上でご利用につながるようにお声掛けをしていきました。
- ・厨房で調理した温かくおいしい家庭料理を毎回提供し、季節感のあるメニューをお楽しみいただきました。
- ・おやつはお客様と一緒に作ったり、日本各地から銘菓を取り寄せたりと嗜好を凝らして楽しんでいただきました。
- ・今年度は時間が長くなったので、お客様とスタッフ間の会話の時間をより多く取り入れ、お互いのコミュニケーションを図るよう努めました。また、レクリエーションのメニューを充実させて、ご本人の希望を取り入れ、選択していただくことで楽しみながら自立した生活が継続できるよう目標を設定して実施しました。

《利用者数（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
789	826	814	847	810	781
10月	11月	12月	1月	2月	3月
803	770	748	728	586	791

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ご利用者が自立した日常生活を営むこと、及び家族の負担軽減を目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、身体の状態に応じて、入浴・排泄・食事等の介護と口腔機能向上・運動器機能向上訓練を行いました。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1）	2,327	円
（要支援2）	4,549	円
●運動器機能向上加算	238	円
●口腔機能向上加算	159	円
●生活機能向上加算	106	円
●食費負担	650	円
●キャンセル料	450	円

（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費450円を頂きました。）

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 8:45 ~ 17:00 の内7時間

《職員体制》

管理者	・・・	常勤兼務	1名
生活相談員	・・・	常勤兼務	4名
看護職員	・・・	非常勤兼務	6名
介護職員	・・・	常勤兼務	4名
		非常勤兼務	24名
機能訓練指導員	・・・	非常勤兼務	6名
調理員		非常勤専任	6名
運転手		非常勤専任	7名
事務員		常勤兼務	1名
		非常勤専従	1名

《目標》

- ・お客様が自立した日常生活を営むことを目標にお客様の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて介護予防通所介護サービスを提供しました。
- ・通所介護計画書の作成にあたっては、個別ニーズを把握しご利用者の意思を尊重し、心身状況、環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営む事ができることを目標としました。
- ・従業員の資質向上を図るための研修を定期的に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ご本人やご家族が見学を希望される場合には随時対応しました。実際に見ていただいて不安を解消した上でご利用につながるようにお声掛けをしていきました。
- ・厨房で調理した温かくおいしい家庭料理を毎回提供し、季節感のあるメニューをお楽しみいただきました。
- ・おやつはお客様と一緒に作ったり、日本各地から銘菓を取り寄せたりと嗜好を凝らして楽しんでいただきました。
- ・今年度は時間が長くなったので、お客様とスタッフ間の会話の時間をより多く取り入れ、お互いのコミュニケーションを図るよう努めました。また、レクレーション

のメニューを充実させて、ご本人の希望を取り入れ、選択していただくことで楽しみながら自立した生活が継続できるよう目標を設定して実施しました。

《利用者数（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
21	21	20	20	19	19
10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	18	18	17	16	18

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分（区と協議の上、策定してください。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・平日と土曜日は午前9時から午後9時まで、日曜日・祝日については午後5時まで、職員が電話や窓口でのご相談をお受けできるように職員体制を整えました。ご相談の内容により、関係機関と連絡を取りながら迅速に対応しました。
- ・担当地区の民生委員児童委員協議会、シニアクラブ、ボランティアグループの会食等に参加し情報提供やミニ勉強会を行いました。
- ・子育て支援では、あそびの杜保育園との共催で「ピーナッツクラブ」を10回開催し0歳～未就園児の子育て中のお母さんの育児に関する様々な悩みや心配ごとの相談に応じました。専門的な相談に関してはあそびの杜の保母さんに対応していただきました。
- ・障がい児への支援では、障がい児は地域での交流や活動が少ない現状のため、放課後支援「とんぼ」（中学生を対象）を15回行いました。その内1回は原鉄道模型博物館等西区内の外出も行いました。中学生の障がい児の余暇支援については、西区社会福祉協議会や西区地域自立支援協議会と共催で余暇支援事業を行いました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・地域活動交流事業のコーディネーターと地域包括支援センターの三職種は地域の会合や食事会に出向く他、協力し合いながら事業を実施しました。民生委員児童委員協議会の勉強会や障がい者施設との各会議やイベント、その他各町内会館への出前講座など全員で協力して対応しました。
- ・地域で元気に活動されている方や自主事業に参加されていた方に状況の変化があった場合は、コーディネーターが包括職員に繋ぎ、介護保険サービス等を案内しました。
- ・介護保険サービスの利用者にも見守りの配食サービスや自主事業等のインフォーマルサービスの利用も案内しました。
- ・月に1回4職種会議を開催し情報共有をすると共に、日々情報共有に努めました。
- ・9月に開催した地域ケア会議は、4職種会議で打ち合わせを重ねそれぞれの専門性を活かしながら役割分担をして開催しました。

3 職員体制・育成

- ・職員は1年間を通して変動はなく、4月着任の職員も地域の行事等に積極的に参加し少しずつ名前を覚えていただいています。
- ・法人内で年間研修計画を作成し、職員は可能な限り研修に参加しました。研修内容としては、新採用時研修、3ヶ月研修、中堅研修、管理職研修など階層別研修や職種別研修を行い参加しました。
- ・法人内で職種ごとの担当者会議を定期的で開催し、各ケアプラザで実施している事業の紹介や課題などの情報交換を行い、担当者の専門性や資質の向上を図れるよう切磋琢磨しています。
- ・外部の研修にも積極的に受講し、研修受講後には研修報告書を作成し、所内での伝達・回覧を行って、情報共有を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・地域ケアプラザは地域の福祉保健活動団体と連携するために連合町内会・民児協・地区社協・西区自立支援協議会・第3地区懇談会の定期的な会合や行事に参加し、日常的に情報交換を行いながら、地域のニーズや課題を把握し事業を行いました。
- ・藤棚ネットワーク（支え合い勉強会）において、子育て支援の勉強会を行いました（2回）
- ・エリア内にある福祉施設や西区社会福祉協議会・自立支援学校・横浜市総合医療センター・こころの健康相談センター・福祉関係機関等が参加している西区地域自立支援協議会や各部会に参加し、よりよいネットワークづくりを行いました。また、日常的な連携会議を定期的実施しました。
- ・第3地区内9つの福祉施設が連携し「福祉フェスタ」を開催しました。
- ・エリア内のグループホームや小規模多機能の推進会議に出席し、地域密着型サービスとケアプラザの役割の周知やネットワークの構築を行いました。

5 区行政との協働

西区地域福祉保健計画「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の第3地区懇談会では地区支援チームとして懇談会メンバーと一緒に活動を行ってきました。また6つの大目標に沿った事業をそれぞれ年度当初の計画どおりに実施できました。

- ①ミニデイサービスや配食サービスを継続し、サポートを必要とする方たちへの見守りを継続しました。
- ②藤棚まつりや第3地区ふれあい春祭りなどで健康チェックコーナーを開設したり、地域への出前講座などで介護予防に関する話などをしました。また、稲荷台小学校にて認知症サポーター養成講座を行い、3年生に認知症の理解の啓発を行いました。
- ③障がい児放課後支援事業を月2回開催しました。また、10月5日に第3地区の福祉施設9館合同で「福祉フェスタ」を開催しました。その際には、第3地区懇談会も参加していただき、より連携が図れました。
- ④地区別懇談会で開催となった1回第3地区ふれあい春まつりが5月19日に開催。開催にあたり、実行委員として支援させていただくと共に健康チェックコーナーを出店させていただきました。
- ⑤子育て支援事業として「ピーナツクラブ」を開催し、ベビーマッサージも単発事業として開催しました。また、藤棚ネットワークでは、西区子ども家庭支援係長や中央児童相談所係長を講師に招いて、子育て支援の実態について地域の方々にご理解いただきました。
- ⑥情報アドバイザー「eネットにし探検隊」によるパソコン指導を行うと共に、藤棚地域ケアプラザの広報誌やホームページにて情報の発信を行いました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域に正しい情報を発信するために

- ・地域版広報誌（年4回発行）
- ・ホームページ月1回更新
- ・担当地域のアセスメントシート年1回更新
- ・地域関係者等の取り組み状況表の作成・記入
- ・地域の自治会町内会や民生委員児童委員協議会、シニアクラブやふれあい会、ボランティアグループの会食会・配食の会等の会合に出させていただいて、情報収集及び情報の発信を行いました。
- ・市民利用施設との連携により、施設の利用状況を窓口で閲覧しています。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・毎月貸室の予約を月始めに受けつけていますが、各団体が話し合いをして公平に利用できました。
- ・地域の皆様が施設を気持ち良く利用できるために、アンケートを実施してご意見を伺いました。受付にご意見ご要望受付箱を設置し常時ご意見やご要望を受け付けて、活動しやすい場の提供に努めました。
- ・藤棚まつりでは、地域団体や福祉施設にブースを出して祭を盛り上げていただきました。
- ・貸室をご利用いただいている団体に、お互いの活動内容を理解したり貸室のルールを確認するために貸室懇談会を行いました。

3 自主企画事業

高齢者見守り事業

- ・配食サービス「みつわの会」18回

高齢者居場所づくり

- ・みんなで唄おう 9回
- ・そろばんぱちぱち 22回
- ・一の会（書道） 7回
- ・作味会（男性料理） 9回

体力づくり

- ・さわやか体操クラブ 18回

顔の見える関係づくり

- ・みんなで体操 33回

障がい児支援

- ・放課後支援「とんぼ」 15回

異世代交流・居場所づくり

- ・実 9回
- ・読み聞かせボランティア くるみ 13回

子育て支援

- ・ピーナッツクラブ 10回
- ・子ども絵手紙教室 8回

情報が正確に伝わる町を目指して

- ・eネットにし探検隊パソコン指導 36回

単発事業 7回

- ・水道教室
- ・つるし飾りなど

- ・第1回「第3地区ふれあい春まつり」への参加ができました。
- ・藤棚まつり（地区センターと合同）では、3,000名の方に足を運んでいただきました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・既にボランティア活動をされている方が継続して活動を続けられる様に、相談や調整を行いました。
- ・介護予防の、健康増進・高齢者でも役割もてる地域づくりという視点から、生きがいづくりを主旨とし、本人の持ちうる能力を引き出せるような声掛け、場づくり、役割の開発など工夫し、例えば、祭りでの健康相談コーナーでのチェックリストや計測の補助、介護予防事業の会場設営、受付、血圧・身長測定のお手伝い、片付けなど、運営補助をしていただきました。（計6回）毎回、反省会を開催するなどして、モチベーションがあがる工夫も意識して行いました。その結果、毎回6～10名の方にボランティアとして活動していただきました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・誰もが住み慣れた地域で安心した生活を継続できるように、様々なご相談に応じました。相談対象としては基本的に 65 歳以上の高齢者の総合相談窓口として地域の方の様々な相談に応じました。また、対象者のみならずご家族の支援も行いました。
- ・ご相談をお受けする際に職員は横浜市の個人情報保護条例を遵守し、適切な接遇で対応いたしました。
- ・ご相談の内容により迅速に関係機関と連携して、継続的に問題の解決やサービス利用に繋げていき、窓口に来られない場合には必要に応じて職員が訪問させていただきました。
- ・ケアプラザは地域の特別養護老人ホーム（ハマノ愛生園）と連携して、24 時間ご相談が受けられる体制を整備しています。
- ・病院や医師会など、医療機関との連携も図ることができました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・平成 23 年度から開催している地域ケア会議を 9 月に開催しました。参加者は引き続き、区役所、区社会福祉協議会、警察、消防、地域開業医、自治会長、民生委員で、25 年度は近隣中核病院 4 施設の医療ソーシャルワーカーも参加していただきました。前年度までは関係機関との連携作りや地域課題の抽出を行い、今年度は架空の事例に対し、各職種・任務としてどんな支援が出来るかのグループワークを行い活発な意見交換ができました。

実態把握

- ・自治会町内会や民生児童委員協議会、老人会、地域の行事など様々な機会を捉えて、情報収集をさせていただきました。その中から、独居高齢者、認知症の方などの個別ケースに多数対応させていただきました。
- ・介護予防事業を地域で展開するための資料として、地域診断を区保健師と、地域活動交流事業担当とで行いました。

2 権利擁護

権利擁護

- ・区役所、社会福祉協議会、司法書士等と共に、定期的に「高齢者権利擁護サポートネット」に参加し、全体会に於いては、専門家からの指導による知識や技術の向上、専門機関と連携できる体制づくりを行い、分科会に於いては市民後見人とのグループワークを行い、情報共有や質の向上に繋がるよう支援を行いました。
- ・包括の事業としては、昨年に引き続き「遺言書の書き方」講座を開催したのに加えて、新たに「エンディングノートとは？」等の講座開催し、地域住民に向けて権利擁護に関する情報発信を行いました。

高齢者虐待

- ・ ケアマネジャーやサービス事業者から上がってくる虐待事例の相談については、区との定例カンファレンスや臨時のカンファレンスを開催して情報共有を行い、連携を図りながら役割分担をして対象者や介護者の支援を行いました。
- ・ 共催事業としては、区内 4 包括社会福祉士会議の中で事例検討会を実施し、虐待と疑われる事例について、区役所、社会福祉協議会、と情報共有を行いました。
- ・ 高齢者虐待防止連絡会に参加し各関係機関を交えて、虐待への未然防止への取組について連携を図りました。

認知症

- ・ 認知症の正しい理解の促進のために、「認知症サポーター講座」を稲荷台小学校と老人会で区民メイトさんと一緒に行いました。また、エリア外でもゆうちょ銀行に区民メイトさんと一緒に参加しました。
- ・ 区役所主催の「徘徊高齢者安心ネットワーク」に参加し関係団体と情報共有とネットワークの構築に努めました。
- ・ 認知症により介護負担の大きい家族には、区内の介護者支援団体である「西区介護者のつどい あげぼの会」を情報提供し、連携を取りながら支援を行いました。
- ・ 「あげぼの会」との交流会を年 2 回行い、「男性介護者のつどい」を年 3 回行いました。
- ・ 西区の認知症サポート医、区役所、介護者教室等、関係機関を交え、認知症と認知症を支える支援者による「ネットワークミーティング」を区内の包括支援センターで持ち回りで担当しました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ・ 介護予防ケアマネジメントを通年の事業とし、その中の二次予防事業対象者把握として、老人会、ひとり暮らし高齢者食事会、祭りでの健康相談、自主事業などでチェックリスト（240枚）を行い、該当者とはほぼ全員意思確認をしました。
- ・ 区役所、区内包括支援センターと連携をとり、エリア外の該当者の情報も交換し合い、必要に応じてケアマネジメントやエリア内の体操教室に繋げました。
- ・ 介護保険の申請にいらした方にも、必要性をアセスメントし、状況に応じて、二次予防事業を提案していきました。
- ・ 該当しない方や、終了者に対しても、必要な事業を提案していきました。
- ・ 閉じこもり傾向や身体状況により、事業への参加が困難な方には、訪問型事業に繋がるよう働きかけました
- ・ 事業に繋がらなかった方への再アプローチ、事業終了者へのフォローを行い、継続した取組にも努めました。

介護予防ケアマネジメント力

- ・介護予防ケアマネジメントを10名の方に行いました。目標は達成してもチェックリストで該当していることと、ご本人の「もっと元気になりたい」という希望にて8名の方が継続中です。改善し終了した方も、介護予防事業でボランティアとして活動していただいたり、町内会の活動に参加している方には、機会ごとに声掛けをしています。
- ・訪問指導型から移行した方も介護予防ケアマネジメントを継続しています。
- ・要支援の方のケアプランは、包括支援センター職員・プランナー1名（約50件）が担当し、その他居宅介護支援事業者（約70件）に委託しました。委託に当たっては、ケアマネジャーと同行訪問して対象者の状況を把握、ケアプランの作成にあたってはご本人の身体状況の改善や自立した生活に向けた目標設定をするよう指導しました。
- ・サービス導入に当たっては公平中立な立場から事業者の選定を行い、またインフォーマルサービスを紹介するよう努めました。
- ・評価時は、ケアプランの達成度をご本人やケアマネジャーと確認して、次のプランに繋げていきました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・地域の町内会に出向き、地域住民に対し、福祉・保健・医療分野の専門家を招き、出前講座を行いました。（11回）
- ・コーディネーターと包括3職種で、民生委員児童委員協議会に出向き、「介護保険制度」「権利擁護」「介護予防」等の勉強会を行いました。（7回）
- ・ケアマネジャーと民生委員の情報交換を行い、顔の見える関係を作ることができました。（年1回）
- ・西区社会福祉協議会の高齢者福祉分科会に参加し、地域の福祉に関わる方々と福祉に関する研修をしたことで知識が向上しました。また、地域での問題等の情報交換ができました。（4回）

医療・介護の連携推進支援

- ・西区医師会との協働でケアマネジャー及びサービス事業所と医療機関（診療所の医師）との情報交換会を実施しました。（2回）
- ・地域の医療機関、関係機関を対象に「地域ケア会議」を年1回行いました。グループワークを通し、地域課題を検討することができました。
- ・日常的に医療機関、関係機関を対象に患者様の退院支援についての相談を受け、包括支援センター職員は病院や自宅に訪問して、対象者の身体状況や介護者、住環境等を把握し、ケアマネジャーやサービス事業者につなげるよう調整を行いました。（87件）
- ・認知症の方と介護者を見守ることを目的とした事例検討会を、西区医師会の医師と協働で行いました。（年1回）

ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャー同士の連携支援及びスキルアップを目標に「ケアマネサロン」を開催しました（年10回）。内容は区との共催でスペース輪の大輪典子先生を招いての「事例検討会」や「認知症のお薬について」等を行いました。
- ・ケアマネジャーからの依頼による担当者会議に出席し、支援困難事例、緊急対応時等のより良い支援体制を目指しました。（43回）
- ・ケアマネジャーから相談を受け、必要時には関係機関とカンファレンスを行い情報を共有しました。（44回）
- ・新入就労支援ケアマネジャーに対する研修等を実施しました。（年1回）
- ・ケアマネ研究会と共催で研修会及び交流会を開催し、オブザーバーとして支援を行いました。（4回）

介護予防事業

介護予防事業

- ・介護予防推進事業として「ボランティア養成講座」を2回開催しました。15名定員でしたが、1回目16名、2回目21名と定員以上の参加がありました。終了後4名のボランティア登録があり、介護予防啓発事業「にこにこしにあセミナー」の運営補助のボランティアをやっていただきました。来年度、他予防啓発事業で活動しているボランティアとのグループ化は同意が得られ、来年度4月よりグループを立ち上げ活動を開始する方向です。
介護予防啓発活動については、「身体が欲する物を食べたり、体を動かす」ということを主目的とし開催しました。日常的にいつもできる内容を行ったのでアンケートでは講座で習った事を続けているという回答を多数いただきました。
- ・体力向上プログラムのOB会「にこにこ会」の活動は2年目となりましたが、参加者も増え、介護予防ケアマネジメントの受け皿となり、またボランティア養成の場となるなど、ケアプラザでの介護予防事業の拠点となりました。

その他

平成25年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：藤棚地域ケアプラザ

平成25年4月1日～平成26年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	19,026	23,394	2,336				
	介護保険収入				5,838	16,585	94,186	9,975
	その他							
	認定調査					293		
	その他	228	9			28	1,041	
	収入合計(A)	19,254	23,403	2,336	5,838	16,906	95,227	9,975
支出	人件費	11,963	22,046	1,860	1,465	17,827		62,688
	事務費	2,709	1,749	476		1,227		15,202
	事業費							
	管理費	4,973	1,322			6		7,450
	その他							
	施設使用料相当額							2,750
	居介支委託分				2,925			
	他会計区分繰入							14,301
支出合計(B)	19,645	25,117	2,336	4,390	19,060		102,391	
収支 (A) - (B)	-391	-1,714	0	1,448	-2,154		2,811	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。

平成25年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
障がい児放課後支援「とんぼ」	中学生	76,536	52,536	24,000	0	60,826	15,710
	161人						
	月200円						
子ども絵手紙教室	小学生	0	0	0	0	0	0
	60人						
	なし						
みんなで唄おう	地域住民	43,815	11,615	32,200	42,864	948	0
	348人						
	月100円						
さわやか体操クラブ	地域住民	92,216	45,016	47,200	92,216	0	0
	366人						
	月200円						
ピーナツクラブ	未就園児の親子	34,334	34,334	0	25,591	8,743	0
	363人						
	なし						
一の会	地域住民	42,024	20,480	14,600	35,080	0	0
	89人						
	月200円						
絵の会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	87人						
	なし						
山のうえサロン	地域住民	37,986	31,386	6,600	12,243	7,743	18,000
	71人						
	月100円						
実	地域住民	798	548	250	0	798	0
	91人						
	実費						

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。

平成25年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ケアプラザ祭(藤棚まつり)	地域住民	211,602	181,798	9,600	0	73,333	118,065
	3000人						
	実費						
男性介護者の集い	西区内の男性	2,237	2,237	0	0	2,237	0
	18人						
	なし						
藤棚ネットワーク	地域住民	22,742	22,742	0	0	10,892	11,850
	81人						
	なし						
くるみ	認知症高齢者	4,368	4,368	0	0	0	4,368
	394人						
	なし						
そろばんぱちぱち	地域住民	0	0	0	0	0	0
	106人						
	なし						
藤棚コンサート	地域住民	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	31人						
	なし						
ハンナのかばん	小学生	25,120	25,120	0	21,860	3,260	0
	23人						
	なし						
夏の余暇活動	中・高校生	28,451	25,951	2,500	0	18,451	10,000
	16人						
	500円						
リボンレイでストラップづくり	地域住民	10,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0
	7人						
	なし						
ベビーマッサージ	生後2～6ヶ月の親子	22,274	22,274	0	22,274	0	0
	17人						
	なし						
かわいいつるし飾りを作ろう	地域住民	2,106	106	2,000	2,106	0	0
	10人						
	なし						

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。

平成25年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
気軽にフラ	地域住民	20,046	20,046	0	20,046	0	0
	28人						
	なし						
第3地区 福祉フェスタ	地域住民	6,874	6,874	0	0	2,000	4,874
	297人						
	実費						
みんなで体操	地域住民	8,221	8,221	0	0	0	8,221
	192人						
	月200円						
貸室懇談会	貸室登録団体	13,080	13,080	0	0	0	13,080
	43人						
	なし						
大人のための水道教室	地域住民	0	0	0	0	0	0
	17人						
	なし						
藤棚交流会	ボランティア	23,520	23,520	0	0	4,520	19,000
	28人						
	なし						
餅つきだよ！全員集合	障がいのある方	6,370	6,370	0	0	6,370	0
	46人						
	なし						
西区サブコーディネーター研修	サブコーディネーター	0	0	0	0	0	0
	27人						
	なし						
絵手紙教室	地域住民	0	0	0	0	0	0
	22人						
	なし						
藤棚節分ゲーム	地域住民	1,050	1,050	0	0	1,050	0
	10人						
	なし						
冬は！おたのしみ会	藤棚町住民	1,000	0	0	0	1,000	0
	9人						
	なし						
大切な水のはなし	地域住民	0	0	0	0	0	0
	17人						
	なし						

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。

平成25年度 自主事業報告書

横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
気軽にフラ	年末年始で重くなった体を軽くするのを目的にプラザを知ってもらいました。	1月第1・2・3 土曜日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児放課後支援「とんぼ」	障がいのある中学生を対象とした放課後の居場所支援。毎月違う内容のレクリエーションを実施。バスで外出も行いました。	毎月第2・4火曜日 全25回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども絵手紙教室	子どもたちが、思い思いの絵をのびやかに描いていました。	毎月第土曜日 全9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで唄おう！	アコーディオンの伴奏に合わせてみんなで唄う会です。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第2土曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやか体操クラブ	転倒骨折・閉じこもり予防・仲間づくりの体操教室を行いました。	毎月第2・4日曜日 全23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピーナッツクラブ	親子支援。毎月違う内容の事業を行い沢山の親子の方楽しんでいただきました。保育所子育てひろば私立常設園「あそびの杜保育園」の協力で開催しました。	毎月第3木曜日 (8月は、不定期) 全14回

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
一の会	書道教室の会です。心を静め書に向かいます。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第4月曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵の会	障害児者をはじめ地域の人誰でも参加できる居場所として開催されました。	毎月第4木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山のうえサロン	山のうえの町内会館に出向き、体操・情報提供・情報交換を行いました。	毎月第2木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実	ボランティアルームを開放し誰もが集える憩いの場として行いました。障がい者就労支援センターの手作りパンを食べながら楽しく過ごしました。	毎月第4金曜日 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラザ祭 (藤棚まつり)	地域の人たちにケアプラザを知ってもらえる様に地区センターと合同で開催。	5月26日(日) 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者の集い	西区介護者の集い「あけぼの会」の協力を得ながら男性介護者を対象に悩みや相談を伺いました。	全3回

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚 ネットワーク	子育てについて地域の方と勉強会を行いました。	全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚節分ゲーム	地区センターとケアプラザを地域住民の今以上知ってもらう事業として地区センターと共催で開催しました。	全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
くるみ	認知症のある高齢者が読み聞かせのボランティアとして保育園の園児に絵本を読み聞かせ、異世代交流を行いました。	全17回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そろばん ぱちぱち	そろばんを使うことで指先の運動、脳の活性化を図りました。仲間づくりのお手伝いを行いました。	毎月第1・3・4 木曜日 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚コンサート	女性1名男性4名のコーラスグループの方が地域の方たちと一緒に唄い素敵な歌を披露して下さいました。	全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハンナのかばん	小学生を対象に人権の勉強を行い、命の尊さを学んでもらい大切に思う心を持ってもらえるよう実施しました。	全1回

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏の余暇活動	学校や家庭以外の方と夏休みに楽しく過ごしてもらえる様に今年度は、バーベキューを行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リボンレイでストラップづくり	手芸をツールとして、ケアプラザに来たことがない人に足を運んでもらいました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人のための水道教	水の大切さを学びました。	全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かわいいつるし飾りを作ろう	誰もが参加でき、作りやすい物をツールとしてケアプラザに足を運んでいただき、ケアプラザを知っていただくきっかけになりました。	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉フェスタ	担当地域内の8福祉施設と合同で、地域の方たちに施設を知ってもらえる様にお祭りを開催しました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで体操	町内会の公園に出向き、顔の見える関係づくり・情報提供場としてラジオ体操を行い体力づくりにも努めました。	毎週土曜日 全41回

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸室懇談会	貸室登録団体に使い方・避難経路について確認し、登録団体同士が交流できる様に行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	タッチケアを学びながら親子の絆を深めてもらいました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚交流会	日頃ケアプラザに関わってくれているボランティアや講師に感謝するとともに、ボランティアや講師同士が交流し活動が活発になる様に行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
餅つきだヨ！ 全員集合	障がいのある人たちの余暇支援（餅つき・お正月ゲーム）を区内の施設の方たちと行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区 サブコーディネーター 研修	西区内のケアプラザ従事者（サブコーディネーター）のスキルアップを目指し研修を行いました。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室	障がいのある方と地域の方が一緒になり、絵を書く会を行いました。	毎月第3木曜日 全3回

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬は！おたのしみ会	地区センターと地域ケアプラザを知ってもらえるよう、地区センターと共催で開催できた。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大切な水のはなし	水のマイスター（水道局）の方から水の大切さについて学ぶことができました。	年1回